

企画にあたって

剣豪・宮本武蔵は真剣勝負に常に勝ち続け、一度として敗れたことがありませんでした。その宮本武蔵が兵法の哲学を伝えた『五輪書』をひらくと、『火の巻』で、「危機や難局の打開には繊細さと大胆さが必要だ」と説かれています。常勝の宮本武蔵にも危機や難局はあったのです。

泌尿器科医は幅広い疾患を扱い、またそれぞれに高い専門性が求められますが、同時に危機や難局に直面することも多いのではないのでしょうか。臨床医としての基本的な知識や技術は指導医や教科書から学ぶことができますが、手術中に遭遇するトラブルに関しては、教科書的に対処できない場合が多々あります。そこで今回は、増刊号「泌尿器科手術ヒヤリ・ハットートラブル対処法 109 の知恵」と題して、泌尿器科手術中において想定されるトラブルとその対処法、さらにはトラブルを回避するための方策などについて、泌尿器科診療の第一線で活躍している先生方に Q&A 方式で解説していただきました。

本誌では 2011 年にも増刊号「こんなときどうする!? 泌尿器科手術のトラブル対処法」を発行しており、好評を博していましたが、それから 10 年以上が経過しトラブルの種類や対処法も大きく変わっています。さっそくページをめくって、109 の「Q」をご覧ください。つつい読み進めたくなってしまうはずです。各項目とも、忙しい日常診療の合間に読んでいただけるようコンパクトにまとめられていますので、若い先生方はもちろん、ベテランの先生方もぜひご一読ください。

ちなみに冒頭の『五輪書』ですが、『火の巻』だけでなく、『地の巻』『水の巻』『風の巻』『空の巻』のいずれも私たちの仕事における極意に通じており、剣術と私たちの診療の近似性に驚きました。繊細さと大胆さをもって泌尿器科診療の危機や難局を打開すべく、この増刊号をおおいに活用していただければ幸いです。

大家 基嗣

慶應義塾大学医学部 泌尿器科学教室